

千草会

題字 原あやめ

学院長挨拶



学院長
鈴木 貞雄

初心

残暑厳しい日々、会員各位におかれましては益々ご健勝のことと思います。日頃、教育活動発展のために多大なるご協力・ご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

この度、伝統ある山脇美術専門学院の学院長に就任致し誠に光栄に思います。教育内容の充実と改善を図るといふ重責を担うことになりました。今日、変化する社会情勢に学院として取り組む課題は多く、困難な問題にも立ち向かわなければなりません。皆さまと学生や教職員のご協力をお願いし、任務にあたる決意であります。教育の情熱意欲を高め目標達成のために邁進して参りますのでよろしくお願い致します。

ご存じの通り、教育目標はデザイン教育を通して、知性と感性に富んだ専門能力と人間力を併せ持ち、美的生活の創造性を自立し、美しい豊かな社会に貢献する人材の育成であります。

日常生活で自己を表現する方法には言葉や文字があります。また、皆さまのように一つの作品を通して表現し感動を与えることもあります。いずれであつても人間の心がヒトに伝えられるすばらしい表現と感動でなければなりません。

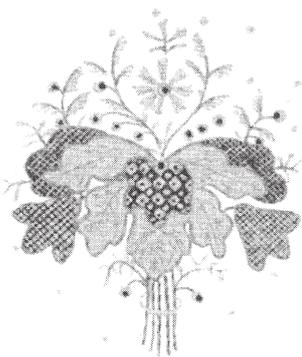
人間形成に完成はなく、「修める」には技術を修める修業と、行いを通して心身を修める修行があります。この時期をいかに過ごすかで人生が大きく変わります。人生のどこかで自らを研鑽することが大切であります。修業とは初心者が精進を重ねて、最期に免許皆伝ということになるでしょう。山を登るような高い目標に向かつて進むようなものです。もう一方の修行は水平方向であり、行く先は果てしなく、どこまで続いても交わることはない平行線であり、終わりはありません。出発点における求道の熱意のなかにすでに目的は成就されていると思えます。初心を貫く決意を忘れないで励んでもらいたい。困難から逃げないでほしい。貴重な一瞬一瞬は、決して留まることはない。在学生は大いなる時間の流れを大切に、学院生活を過ごされることを期待します。

皆さまのご健康と千草会の益々のご発展をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



目次

- 学院長挨拶 1頁
- 在校生より 2頁
- 卒業生だより 3頁
- 学院ニュース 4・5頁
- 研修旅行／会計報告／就職他 6頁
- 学校案内 7頁
- お知らせ／千草役員・委員 8頁



25

年号

在校生より



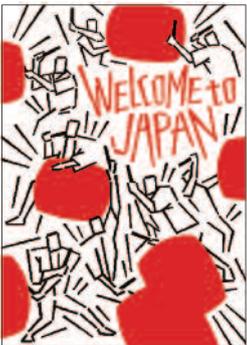
ビジュアルデザイン科

《2年》池沢 百奈美

Visual design

この学校に入学してから2年半が経ち、取り組んだ課題も大分増えました。始めはただ好きなように絵を描いたり、最終形態が決められた物を作る課題が殆どでしたが、授業が進むにつれて、その作品を見る人の事を意識した課題が多くなってきました。私が苦戦したのは、みんなが共通に良いと思えるものを作ることでした。「暖かい」と思って使った色が他人には「辛い」という印象を与えてしまったり、自分では完成したと思っ

ても、「これで完成なの?」と言われてしまったり。自分で感じた印象と、他の人の感じた印象の違いをどうやって無くしていけば良いのが、私の大きな課題になりました。この問題を解決するためには、とにかく色々な人に意見を聞く事が一番の近道なのではないかと思えます。依頼主にあたる人とは、何度も話をして、お互いの考えのイメージを共有することがとても大切なのだと思います。そうして何度も作品を練ることで、



B1ポスター
welcome to japan

山脇美術専門学院に入学してから今日まで、とてもあつという間に過ぎました。新しいことに挑戦したこの1年は私にとって特別なものとなり、今では毎日が充実しています。2年生になってからは、一気に専門的な内容になり、一つ一つをより深く、詳しく学ぶようになりました。その中でも、1年生のときに得た知識が活かされると、少しずつでも成長しているんだと実感します。知らないことや見たこと無いものなど新たな発見があり、刺激的な日々を過ごす一方で、不安や悩みも増えました。壁にぶつかるたびに自分の力不足に気づかれます。ですが、そんな時だからこそ、私は苦しさをポジティブに受け入れるよう心掛けていました。おかげで「難しく考えすぎず、今できることをしよう」と考えられるようになりました。今後、将来の明確な目標が見つかったときのために、今は目の前の課題に全力で取り組んでいきたいです。多くの知識や感性を養いながら、自分の可能性を信じて頑張ります。



私の家「集う家」



スペースデザイン科

《2年》杉浦 花梨

Space design

2年生になって、1年次より一つ一つの課題のボリュームが増し、忙しい毎日を送っています。私は将来クラフトマンを志望しています。商品は手にするお客さんが、長年使っていけるジュエリーを制作できるようにしたいと思います。ジュエリーデザイン科に入りました。私は、小さい頃から物を作ることが好きだったので、制作の作業は好きなのですが、制作前のデザインを考えるのが得意ではありませんでした。ですから、時間がある時に本や実際の商品を見る様に心がけ、デザインのアイデアをストックする様になっています。実制作では、一つ一つという工程で作業をすれば効率がいいのか、どうやったら綺麗に磨けるかを、常に考えながら作業をするよう心がけています。日々の制作が将来に役立つ経験になると思うので、これからも制作やデザインの勉強を頑張っていきたいと思えます。

箱「レコード」／回転ブローチ「黒電話」



箱「レコード」／回転ブローチ「黒電話」

卒業生だより



●ビジュアルデザイン科 2006年卒業 村瀬 明希

株式会社 ヘノブファクトリー

仕事内容を教えてください

「会社の主な業務は、新規Webサイトの制作と既存サイトのコンサルティングです。その中で私の仕事は、新規サイトのプランニングやディレクション、既存サイトのコンサルティングとしてマーケティング、プランニング、ディレクション、アクセス解析などを行っています」

仕事をしていく上で大切にしていることや気をつけていることはありますか？

「常に目標を持ち、何のためにしているのかを意識することです。例えば、デザインで迷った時は、最終的に何のために作るのかを考えます。自分の信念を持ち続けていれば、必ず答えが導きだせると信じて仕事をしています」

山脇で学んだことで、役に立っていることがあれば教えてください

「コミュニケーション能力です。相手が求めていることを深く理解し、自分の考えを伝えるという能力が、全ての仕事の基本になっていると思います。学生時代に、友達や先生方と身近に何度も意見交換をすることで養ってきた力だと思っています」

●スペースデザイン科 2003年卒業 渡邊 祥太

(旧インテリアデザイン科)

株式会社 ノムラプロダクツ

仕事内容を教えてください

「商業・文化施設のサイン・看板のデザイン・施行をしています。具体的には、オフィスビル・ホテル、変わった所では競馬場などがあります。サイン・看板の素材は、スチール・ステンレス・アルミ複合板が主となっていて、それぞれを、コストや屋内外などの設置条件により使い分けます。サイン工事は、営業・デザイナー・施工担当の3人でチームを作り一つの物件を請け負います。請負金額も大きいと1億円クラスになるものもあります」

どういった時に喜びややりがいを感じますか？

「大きな仕事になると1年かけて手掛けます。現場では苦労が多いこともあり、チーム全員で遂行し、無事成功した時は心底嬉しいですね。苦労が多かった時ほど喜びは大きいですね」

山脇で学んだことで、役に立っていることがあれば教えてください

「学生時代から、アーティスト的なデザイナーより実践的なデザイナーを目指していました。誰にでも分かるサイン・看板の仕事は、本当に現実的な仕事です。学生時代、色彩・製図・CAD・模型などのインテリアや建築に関する全てを、これでもかというくらい集中して勉強できたことは、今の自分に役立っていますね。色々な分野を知っていると知らないとは雲泥の差だと実感しています」



●ジュエリーデザイン科 2002年卒業 相庭 聡

(旧ジュウリーアート科)

株式会社 ケイ・ウノ

仕事内容を教えてください

「入社して4年間はジュエリークラフトマンとして、いろんな部門の制作にたずさわりました。5年目の時に、ダイヤモンド研磨班立ち上げの話があり、メンバーに選ばれました。技術を習得するためにダイヤモンドカッターの師匠のもとへ通いつめ、学んでいるうちに「本場へ行ってもっと深く技術を学びたい」という思いがつのり、思いきって単身ベルギーに渡りました。今思えば無謀でしたが、言葉は通じなくても、本気で学びたいという気持ちがあれば、なんとかなるものですね。ベルギーでは技術はもちろん、ダイヤモンドカッターとしての『心』を学ぶことができました。そんな苦労の甲斐あってか、今では6人の部下のマネジメントと技術指導をやらせてもらっています」

どういった時にやりがいや喜びを感じますか？

「仕事は毎日楽しいですよ。先ほどのダイヤモンド研磨班立ち上げのように、新しいことに挑戦して、社内や世の中の人々に認められるのはとても嬉しいですね。ケイ・ウノは他の店と違って、ダイヤモンドを原石から作っています。原石から2つ、3つのダイヤモンドをカットする『Two as one Diamond (トゥ・アズ・ワン ダイヤモンド)』にも成功しました。ダイヤモンドは、自分が生み出したという格別な喜びがありますね」

学院ニュース



デザイングランプリ東北



東北地区印刷協議会主催「プロのデザイナーとプロのデザイナーを目指す学生を対象としたグラフィックデザイン」のコンペが開催され、今回のコンペは「元氣！東北」がテーマでした。

学生部門 応募総数206点の中から、本校のビジュアルデザイン科3年（2年次制作）小作千尋さんが「最優秀賞」と「中村誠賞」に輝きました。また、その他受賞で、同じくビジュアルデザイン科より、3年（2年次制作）

★奨励賞： 笹原美奈子

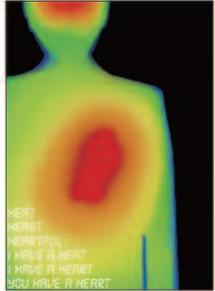
★東北地区印刷協議会会長賞： 堀内梨名

★期待賞： 白川沙耶、浅賀大輔

★最優秀賞： 小作千尋



《期待賞》 白川 沙耶



《奨励賞》 笹原 美奈子



《期待賞》 浅賀 大輔



東京装画賞

東京装画賞は、日本図書設計家協会（本の装丁・装画など出版物のデザインに携わる日本を代表する団体）が主催する、ブックジャケット・イラストレーションのコンペです。

一般部門と学生部門があり、学生部門の応募数は519点。その中から、本校ビジュアルデザイン科の学生3名が入選しました。

3年（2年次制作）

★入選： 浅賀大輔、桜庭保奈美、田畑綾子



浅賀 大輔



桜庭 保奈美



田畑 綾子



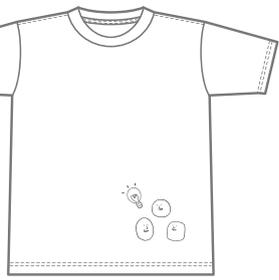
バンフー 学生Tシャツデザインコンテスト

主催：株式会社帆風が主催のTシャツコンテスト

今回のテーマは、「社会に対して感じる大切なひとへ伝えたいこと」などのメッセージをTシャツにデザインするというものです。

3年（2年次制作）

★優秀賞： 白川 沙耶

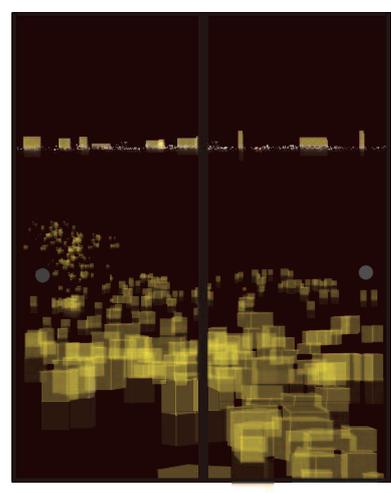


デザインコンセプト
「三人寄れば分殊の知恵」



襖絵デザインコンペティション2012

主催：関西襖内装事業協同組合



【佳作】

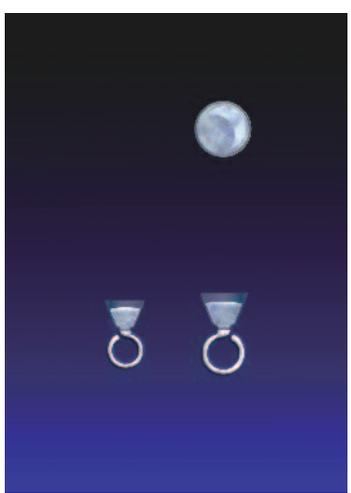
スペースデザイン科 3年（2年次制作）

田口 廣大



第6回 糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテスト

主催：糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会



【グランプリ】

ジュエリーデザイン科 3年（2年次制作）

吉谷 菜緒



**第27回公募
2012日本ジュエリーアート展**

主催：(社)日本ジュエリーデザイナー協会

【入選】

ジュエリーデザイン科 3年
(1年次制作)

板野 竜也



【入選】

ジュエリーデザイン科 2011年3月卒業

道山 智子



【入選】

ジュエリーデザイン科 1998年3月卒業

和氣 佐知子



**第2回日本ジュエリー
デザインコンペティション**

主催：(社)日本ジュエリーデザイナー協会

【奨励賞】

ジュエリーデザイン科 3年
(1年次制作)

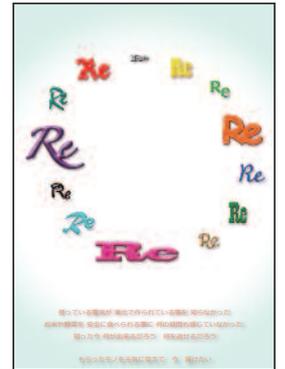
大島 彩瑛



**ジュエリーデザイン科
20周年記念展覧会**

ジュエリーデザイン科が今年で20周年を迎えました。

20周年を記念して、ジュエリーデザイン科20周年記念展覧会を2013年6月1日～8日まで本校ギャラリーで開催しました。



【奨励賞】

ジュエリーデザイン科 3年
(1年次制作)

櫻庭 愛

【奨励賞】

ジュエリーデザイン科 3年
(1年次制作)

小林 菜々美



テーマ「つなげる・つながる」

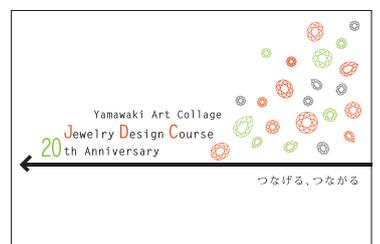
20周年という節目を機に、同級生同士、先輩後輩、先生方、そしてジュエリー業界の方々とも改めて繋がることのできるような展覧会を目指しました。

展覧会初日にはオープニングパーティも開催し、たくさんの卒業生、先生方、関係者の方々と過ごし有意義な時間となりました。

また、展覧会だけではなく今回はジュエリーデザイン科メンバーズサイトを同時に立ち上げました。このサイトではジュエリーデザイン科の卒業生、そして在学生の作品やプロフィール、スキルなどを閲覧することができます。ぜひ沢山の方々にご覧いただきたいと思っております。

山脇美術専門学院ジュエリーデザイン科
メンバーズサイト
<http://www.yamawaki-jewelry.com>

ジュエリーデザイン科助手 木村 晶代 記



研修旅行



蒔絵体験



ソーセージ作り体験

また、美術館見学や町並み散策では、熱心にメモをとり、撮影可能な場所では写真を撮りながら満喫しました。さざえ堂や五色沼など、その土地特有の自然や歴史的建造物にも興

味を持って楽しんでいました。この研修旅行では学生同士の交流もテーマのひとつになっていきます。1日目の夕食後に開催したレクリエーションでは全学生と教員が参加し、学生企画による絵しりとりゲームで、科や学年の垣根を越えて盛り上がりました。今回の研修旅行では、3科が同じ場所の見学や体験実習を行いました。3科が同じ場所の見学や体験実習を行いました。3科が同じ場所の見学や体験実習を行いました。



五色沼

千草会 平成24年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させていただきます。

前年度繰越分	¥4,196,541
収入	千草会費 ¥1,050,000
	利息 ¥767
	計 ¥1,050,767
支出	千草会会報 発行費 ¥484,423
	年賀状 ¥8,340
	運営費 ¥167,167
	その他 ¥22,565
	計 ¥682,495
	次年度繰越金 ¥4,564,813



さざえ堂



レクリエーション

味を持って楽しんでいました。この研修旅行では学生同士の交流もテーマのひとつになっていきます。1日目の夕食後に開催したレクリエーションでは全学生と教員が参加し、学生企画による絵しりとりゲームで、科や学年の垣根を越えて盛り上がりました。今回の研修旅行では、3科が同じ場所の見学や体験実習を行いました。3科が同じ場所の見学や体験実習を行いました。3科が同じ場所の見学や体験実習を行いました。

▼ビジュアルデザイン科助手 遠藤裕喜奈 記

オープンキャンパス情報

【体験入学・学校説明会】のご案内

- ▶ **体験入学**: 実際に授業を担当する講師が、パソコンや道具の使い方を教えていながら制作していきます。リング・ディスプレイ・パッケージ・デッサンなど楽しい実習体験が盛り沢山!
- ▶ **学校説明会**: 学校や各科の特徴、各科のカリキュラム、就職、奨学金など入学に関する全てをご案内します。施設見学や在学生の作品もご覧いただけます。

NEW 『新しい奨学金のご案内』

「山脇子女奨学金」を新設いたしました!
ご親族が山脇に進学される場合、入学金の一部(5万円)を免除する「山脇子女奨学金」(他の奨学金との併用可)を新設いたしました。ご親族にデザイン各科への進学を希望される方がおられましたら山脇を是非ご紹介ください。

就職について

平成25年3月は、3年制移行完成年度にあたり、卒業生がいまませんでした。
現在、新3年生が就職活動に励んでおり、早くも数名が内定しています。内1名は、山脇を指定の推薦入社です。卒業生の皆様の活躍のおかげで、山脇を指名してくださる企業があることは大変ありがたいことです。お礼を申し上げます。近年はWEBによるエントリー方式が主流ですが、優良企業はまだ、隠れています。後輩のために皆様のお力をぜひお貸しいただきたく、よろしくお願い申し上げます。
年間実施の就職講座など、技術とともに、人間力が身に付くよう、工夫と努力を続けてまいります。

ビジュアルデザイン科 40名

グラフィックデザインとWebデザインの両方を軸に「仕事に直結する授業」を行っています。2年次



より選択授業がスタート。自分の興味や将来の目的に合わせて、イラストレーション・グッズ・パッケージデザインなどの派生講座をより深く学べる仕組みです。また、発想力・企画力・コミュニケーション能力などを鍛えるカリキュラムも多数あり、将来フリーランスとして独立したり、アートディレクターやプロデューサーとして活躍することも可能です。



立したり、アートディレクターやプロデューサーとして活躍することも可能です。

学院は平成25年11月に創立84年を迎えます。今年度は修業3年制になり、全学年・全学科が揃いスタート致しました。これからも特色あるデザインの専門学校として邁進していく所存でございますので、今後とも入学・就職において、同窓の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

デザインで新しい未来を！ プロのデザイナーを育てるための、 山脇の特色あるポイント

- 1 少人数制**
デザインの現場に近い学習環境
- 2 3年制**
じっくり学べるカリキュラム編成
- 3 授業時間数**
基準を大きく超える年間1,050時間
- 4 最高の学習環境**
専用の制作機と個別支給のMac Book Pro
- 5 就職サポート・教職員全員での
全力サポートと50時間の就職講座**

スペースデザイン科 18名

インテリアや建築などのスペースデザインと家具や照明などのプロダクトデザインの両方を学べ、どちら



の分野にも精通したデザイナーや建築士、コーディネーターとしての活躍が期待できます。初心者にも配慮した段階的なカリキュラムで、建築法規・設備・構造・施工からデザインビジネス論まで、プロとして必要な知識やスキルを徹底的に学んでいきます。スペースデザインを伝える製図やプレゼンテーション力を鍛える講座も十分に用意されています。また、卒業と同時に2級建築士の受験が可能です。



も十分に用意されています。また、卒業と同時に2級建築士の受験が可能です。

ジュエリーデザイン科 15名

ジュエリー制作の基本技術から本格宝飾造形技術まで、ジュエリー制作に関する様々な技法や知識を一貫したカリ



キュラムで学んでいきます。日本やヨーロッパの伝統彫金技法やキャストイング、ガラス細工、七宝、宝石学など、様々な技法や知識を必須で学ぶことにより、よりレベルの高いクリエイターとして表現の幅を広げます。段階を追って多くの制作課題をこなすことで、初心者でも確かな技術を身に付けることができます。付加



価値の高い技術とデザインセンスを併せ持つハイレベルなデザイナーやクラフトマン（職人）を目指します。

※平成26年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ アドレス <http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。

お知らせ

山脇祭

【開 期】平成25年9月7日(土)～8日(日) 10:00～17:00
 【テーマ】『CIRCUS』
 【コメント】POPでドキドキするサーカス?! 幻想的でキラキラしたサーカス?! それは来てからのお楽しみ! 学生作品展示、飲食やグッズの販売、学内装飾。見て、聞いて、味わって五感で楽しめる山脇サーカスの幕開けです!

第43回専門学校美術展

【開 期】平成26年2月22日(土)～28日(金) 9:30～17:30
 【開催場所】東京都美術館(ロビー階、第1・2展示室)
 【開催時間】9:30～17:30(初日は13:30開場・最終日は13:30まで入場可)
 【コメント】都内のデザイン・アート系専門学校11校が参加。今年も本校学生の作品を大きな舞台で発表します。それぞれの専門学校の特色ある力作が勢ぞろいする見応えある美術展です。皆様のご来場をお待ちしています。

卒業・進級制作展

【開 期】平成26年3月5日(水)～9日(日)
 【開催場所】山脇ギャラリー
 【開催時間】11:00～19:00(最終日17:00迄)
 【コメント】1年間の集大成として、1・2年生は進級作品、3年生は卒業制作を展示致します。学生たちの力のこもった作品を是非ご覧下さい。会場は山脇ギャラリーを使用して5日間開催されます。

山脇ギャラリーより 《これからの展示案内》

- 日本ワイルドライフアート協会展 9月11日(水)～9月18日(水)
- 第9回 日本イラストレーター協会展 10月29日(火)～11月5日(火)
- 歩展 9月20日(金)～9月26日(木)
- 理科美術展 11月6日(水)～11月12日(火)
- 茫洋の世界・清水要先生個展 10月4日(金)～10月10日(木)
- 第25回 全日本高校デザイン・イラスト展 11月14日(木)～11月18日(月)
- 第2回 東京装画賞2013 10月12日(土)～10月26日(土)
- 関東新象展2013 11月20日(水)～12月4日(水)

☆日・祝 休館

☆通常の開館時間は11:00～18:00ですが、展示初日と最終日は時間が異なる場合がありますので、お問い合わせ下さい。山脇ギャラリー TEL 03-3264-4027

☆制作活動をされている方で作品発表の場所をお探しの際は、山脇ギャラリーを利用されてはいかがでしょうか。会員の方の参加をお待ちしています。

「山脇敏子作品集」寄贈 追記
 ・ヴォーグ社 平成24年5月
 ・埼玉県立浦和図書館 平成24年6月
 創立80周年記念の「山脇敏子作品集」のご要望を頂き、寄贈させて頂きました。

講師・職員異動報告

▼退職された先生

スペースデザイン科 吉野 眞二 先生
 ビジュアルデザイン科 小門 孝行 先生

▼就任された先生

ビジュアルデザイン科 石木 賢二 先生・荻原 隆 先生

加藤 三喜 先生・佐藤 好彦 先生
 柴田 耕次 先生・杉下 城司 先生
 根田 拓也 先生 中村 佳世 先生

▼就任された職員

ジュエリーデザイン科 遠藤裕喜奈 助手
 ビジュアルデザイン科

千草会役員・委員

会長 片桐 清子 洋裁師範科卒
 副会長 芦沢 梓 デザイナー科卒
 副会長 百田富美子 コスチュームデザイン科卒
 学内委員 篠原 一郎 専任
 桐井 英明 専任
 佐藤 未来 ビジュアルデザイン科助手
 篠塚 朋子 ビジュアルデザイン科助手
 遠藤裕喜奈 ビジュアルデザイン科助手
 福澤 清子 スペースデザイン科助手
 木村 晶代 ジュエリーデザイン科助手

千草会 会報 平成25年8月 第52号
 発行 山脇美術専門学校 同窓会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-8-21
 電話 03-3264-4020

(学院窓口)